



第33号
令和8年
3月発行

発行責任
津市スポーツ推進委員会
広報部会
<https://tsu-sposui.com>



津市スポーツ推進委員会のホームページでは最新の活動を見ることができます。
右上の二次元コードからアクセスしてください。

令和7年度三重県スポーツ推進委員研修会 兼

第66回三重県スポーツ推進委員研究大会

とき：令和7年11月29日（土）10：00～14：30

ところ：菟野町町民センター〈菟野町中央公民館〉・菟野町体育センター



毎年恒例の三重県スポーツ推進委員研修会 兼 三重県スポーツ推進委員研究大会が菟野町で開催されましたのでその様子をお伝えします。

開会式では、馬場会長のあいさつを初め、来賓の方の紹介、次期開催地である名張市スポーツ推進委員会会長のあいさつ、スポーツ推進委員功労者・表彰状授与式があり、県内各地区から計 32 名が表彰されました。津市からは、津ブロックの白藤さんが表彰されました。おめでとうございます。



その後、講演では岡田充弘氏【社会人野球にて現役を引退後に自身のアスリートとしての経験と、整骨院勤務での技術を生かし、2006年にスポーツクリニック TheSUN'S (サンズ) を設立。介護資格を取得し、地域のレクリエーション、未就学児課外授業、競技スポーツ指導、指導者育成など、スポーツ全体のサポートに力を注いでいる方】が講師となり「さまざまなスポーツへの取り組み方」について話されました。スポーツとは「する」、「みる」、「ささえる」、「学ぶ・教える・伝える」があること。健康で学び、文化・交流を通じて伝えることであること。昨今流行のeスポーツもバーチャル空間ではあるが対戦できる競技スポーツであること。スポーツ推進委員には「つなぐ役割」があることを心得ていただきたいこと。

行政と市民、競技者と参加者、現実空間とデジタル空間、誰でも関われるスポーツ環境づくりで地域をリードして欲しいと話されました。

その他にも、女子のプロゴルファーはプロテスト合格後、研修としてツアーにボランティア参加する義務があるが、男子プ



ロでは聞いたことがないこと。この差が現在の女子プロゴルフの人気に繋がっていることは間違いがないことをお話しいただきました。また、障がい者スポーツの推進（男子テニスの小田凱斗は、自分は障がい者と思っていない。周りが思っているだけと話している。）、地域スポーツの振興（来年、菟野町では地域の特性を生かして山間を走るトレイルランを開催する。）、多世代参加のイベント促進（四日市港で釣り大会、親子で参加し、釣った魚をその場で素揚げしたら、魚嫌いな子が食べられた。）等、ぜひ楽しく周りを巻き込んだイベントを推進してくださいとお話しいただきました。スポーツハラスメントについては、スポーツ活動の場で指導や運営の名目であっても選手や、参加者に身体的・精神的な苦痛また不利益を与える行為について、「指導」と「ハラスメント」の境界を理解することが重要であると話しいただきました。

『ティーチング』は、プロがやることで、『コーチング』とは、依頼者を安心、安全に目的地に届けることであり、スポーツ推進委員の方々には、コーチングを行って欲しいとお話いただきました。

熱中症対策としては、喉が渴いたら水を飲んでくださいの自主性だけではダメであり、早め早めの休憩時間を設け、給水タイムとして飲ませる工夫をして欲しいと話されました。



午後からの実技研修会では、「スポーツを快適に行うための簡単なメソッド」として、首、肩関節、股関節、腹筋、足首のストレッチを行いました。正しい姿勢について解説もあり、納得することが多い研修でした。

今回の津市スポーツ推進委員の参加者は 21 名でした。

記事 : furuichi

ブロックだより

久居ブロック 第 28 回ひさい榊原温泉マラソン

とき：令和 7 年 11 月 16 日（日）

ところ：榊原小学校周辺

11/16（日）、第 28 回ひさい榊原温泉マラソンが開催されました。

今年は朝から抜けるような青空が広がり、雲ひとつない快晴のもとでの開催となりました。本大会は、四季の移ろいが美しい榊原温泉郷を舞台に、全国各地からランナーが集まる地域恒例のイベントです。津市榊原小学校をスタート・ゴール地点とし、10 マイル、10 キロ、5 キロ、1.5 キロと、年齢や体力に合わせて挑戦できる多彩な種目が設定されており、子どもから大人まで多くの参加者が思い思いのペースで秋の榊原を駆け抜けました。

スポーツ推進委員久居ブロックからは、11 名がスタッフとして参加しました。前日の道路チェックやコース整備、当日の巡回を担当し、ランナーが安全に走れる環境づくりに力を注ぎました。特に路面の落ち葉や小石を事前に除去して、参加されるランナーの皆さんが安心して走れるようコース整備に注力しました。

参加者からは、「走っていて気持ちがいい」と声がるほどの絶好のコンディションだったようで、サポートした私たちも、来年もより多くのランナーが気持ちよく、楽しく走っていただける環境整備を継続していきたいと感じました。

記事：Nishimura



ブロックだより

一志ブロック グラウンドゴルフ大会&モルック教室・大会

とき：令和7年12月7日（日）

ところ：一志野球場

参加人数（一般）24名、（推進委員）13名 計 37名

一志ブロック主催のグラウンドゴルフ大会を開催しました。4名1チームとして、スポーツ推進委員1名が審判について、8コースを2ラウンドして、打数を競いました。50Mコースでは、「ポストが遠いなあ」と苦戦したり、15Mコースでは、ホールインワンを狙うも外して悔しがったり、真剣に取り組んでいただきました。そして、1・2・3位とブービー賞の他、数多くの賞を設け、賞を受け取る参加者は笑顔に溢れており、天候にも恵まれ非常に良い生涯スポーツ大会になりました。

記事：Shimizu



とき 令和8年2月22日（日）

ところ 大三小学校運動場

参加人数 総勢 70名程度

地元の体育振興会と合同で、モルック教室と地区対抗のモルック大会を開催しました。始めにルール説明を行い、4名1チーム、4コートで大会を行いつつ、モルック体験として2コートを教室としました。競技説明では、「点数の数が複雑で頭を使う」などさまざまな声がありましたが、実際プレーではみなさん計算しながら、スキttlを狙っており、上手に当てた際には笑顔で喜んでいました。ときには、狙いすぎてスキttlを倒せなかったり、50点をオーバーし、25点に逆戻りして悔しがったりと楽しんでいただきました。当日は天候にも恵まれ、参加者からは、またやって欲しいと多くの声を頂戴して主催者として嬉しく感じました。

記事：Shimizu



ブロックだより

安芸ブロック ニュースポーツ研修会・安芸地区モルック大会

とき：令和8年2月22日（日）9:00～

ところ：河芸体育館

津市スポーツ推進委員会安芸ブロック事業として、モルック大会を開催しました。

フィンランド発祥のお年寄りからお子様まで誰でも楽しめるモルックは、通常グラウンド等の室外で行われる競技です。天候に左右されることのないように、今回の安芸ブロック事業では、体育館内で行うこととし、準備を進めてきました。よって、体育館のフロアを傷つけないよう配慮して、木製モルックは使用せず、ダンボール製を使用しました。

前回のブロック交流会でダンボール製での使用感を体験・調査しており、十分楽しめる判断した結果、採用したものです。

当日は、24チーム（51名の小学生からお年寄りまで）の地域住民に参加いただき、競技を楽しんでいました。道具もコンパクトで軽く、コート準備も簡単なので、お勧めの軽スポーツだと思います。

皆さまもぜひ、体験してみてください。



記事：furuichi

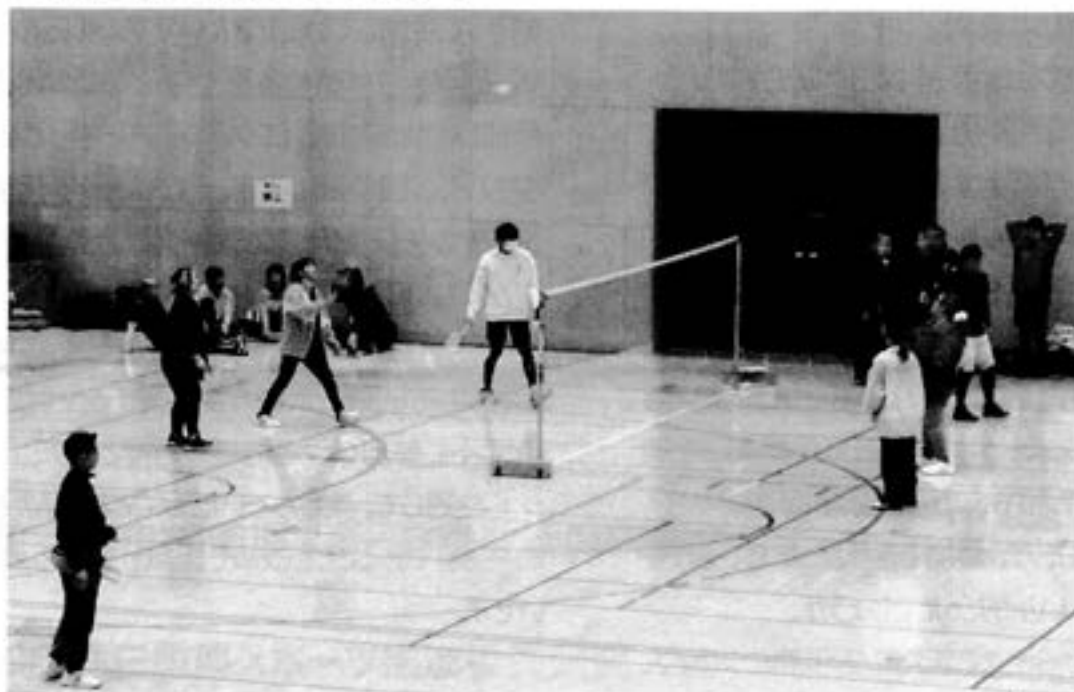


ブロックだより

津ブロック ファミリーバドミントン大会

とき：令和8年3月8日（日）

ところ：日碓ハイウエアアリーナ・サブアリーナ



津ブロック主催のファミリーバドミントン大会を開催しました。

昨年まではランク分けせず、試合を行ってききましたが、同じレベルで対戦いただけるよう、過去の実績を事前調査し、1部（上級者）と2部（初級者）に分けて対戦表を組みました。

大会当日は、鈴鹿市のファミリーバドミントン大会と日程が重なり、応募チームが少なくなることを心配しましたが、締め切り時点で、1部に12チーム、2部に9チームの合計21チームに参加いただきました。

一般1部の予選リーグは、各コート4チームのリーグ戦を2回実施して順位を決めました。

決勝リーグは、上位8チームのトーナメント戦で順位を決めました。

9位から12位はリーグ戦にて順位を決めました。

一般2部の予選リーグは、各コート3チームのリーグ戦を2回実施して順位を決めました。

決勝リーグは、各コートの1位だった3チームが総当たり戦で順位を決めました。

経験者と初心者（1部と2部）に分けたことで、圧倒的な実力差の試合が少なくなり、参加者も同レベルとの対戦を楽しんでいただけました。

1部の決勝戦では、ミスが少なく低得点のため得点が入るたびに歓声に溢れ、盛り上がりました。

結果は、一般1部の1位は、ミニふらんすばん（高茶屋）、2部の1位は、一身田FB（一身田）でした。

大会終了後、上級者、初級者とも楽しかったとおっしゃっていただき、今日までの準備と、当日の運営関係者として負傷者もなく無事終わったため、来年も楽しんでいただく準備をしようと胸に誓いました。

記事：Yamada

☆☆☆編集後記☆☆☆

ふれ愛 33 号の発行です

ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックが終了し、
パラリンピックが始まりました。

冬季オリンピックのスノーボードは日本のお家芸となりメダルラッシュとなりました。またフィギュアスケートでも新たなヒロインが誕生するなど、早朝からのテレビ観戦で睡眠不足となりました。

りくりゅうベアのショート 5 位からの逆転優勝の瞬間を観て涙した方もいらっしゃるかと存じます。

観るだけで感動し、興奮出来るスポーツは最高です。

さて、この春は、スポーツ推進委員の任期満了を迎える年度です。令和 6 年からの 2 年間で様々な事業に参加された方、参加できなかった方、それぞれだと思います。いかがだったでしょうか。

令和 8 年 4 月から始まる新たな 2 年間について、引き続き委員となる方、また、新たに推薦された方

がいっしょにしたいと思います。スポーツ推進委員は、市から委嘱された非常勤公務員として働くことの自覚を持って活動していただきたいです。地区のイベントや、各ブロック主催の各種イベントの企画や運営に参加して地域のコミュニケーションリーダーとなって活躍されることを期待します。それぞれの事情やイベント開催のタイミングとスケジュールが合わない等、調整が難しいこともあろうかと思います。役員会や理事会でも行事への参加者が年々減少していることを危惧しています。私たちが企画する生涯スポーツイベントに参加くださる地域の方々とのコミュニケーションを通じて、楽しんでいただくことが、私たちの使命・役割であることを改めて認識しなければなりません。

記事：furuichi

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

〒514-0056 津市北河路町 19-1 メッセウイング NHW 2 階

TEL:059-229-3254

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<https://tsu-sposui.com>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<https://zentaishi.com/wp2/>

☆ 令和 6 年 10 月 1 日からメッセウイング・みえは「メッセウイング NHW」に、サオリーナは「日硝ハイウエアリーナ」に、三重武道館は「NHW 三重武道館」に名称変更しました。